

### 次世代のための活動が評価 日本水大賞審査部特別賞受賞



▲喜びを語る次世代のためにがんばる会のメンバー

8月12日、次世代のためにがんばる会代表の松浦ゆかりさんら5人が中村博生市長を訪問し、第18回日本水大賞審査部会特別賞を受賞したことを報告しました。

日本水大賞は、21世紀の日本のみならず地球全体を視野に入れて、水循環の健全化を目指し、美しい水が紡ぎ出す自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与することを目的としています。

次世代のために、がんばる会は、次世代につながる多彩な水環境教育活動（かき殻を使った河川水質浄化など）がユニークなため、審査部会で特に表彰に値すると判断され、今回の受賞となりました。

### 九州初！球女の祭典

日本女子プロ野球「オールスターゲーム」開催



▲打席に立つ松村選手

J A やつしろと日本女子プロ野球リーグが、熊本地震の復興支援と八代地域の活性化を目的に8月11日、県営八代野球場で、九州初となる日本女子プロ野球「オールスターゲーム」球女の祭典2016を開催しました。

同ゲームは、今回、「九州選抜チーム」対「ファン投票選抜チーム」の対戦で、地元鏡町出身の松村朱咲選手は、「九州選抜チーム」から9番センターで出場。松村選手が打席に立つと、球場内はひととき大きな拍手と歓声で包まれました。

松村選手は「多くの人に元気を与えられるプレーをしたいと思います。ありがとうございました」と嬉しそうに話しました。

### 長年のボランティア功労を称えて 少年補導荣誉銀章伝達・署長感謝状贈呈



▲功労が称えられた吉田さん（左）と徳田さん（右）

7月13日、八代警察署で少年補導荣誉銀章の伝達と署長感謝状の贈呈が行われました。

少年補導荣誉銀章を受章したのは、敷川内町の徳田武治さん。

徳田さんは、八代地区少年補導員の委嘱を受けてから37年の長きにわたり、豊富な経験と高い識見を活かして少年の補導活動や有害環境の浄化活動などに尽力しました。

署長感謝状を受領したのは、日奈久下西町の吉田隆義さん。

吉田さんは、地区内の道路沿いの花壇への花植や除草、ごみ拾いなどによる環境美化活動に取り組むかたわら、高齢者への声かけによる安全確認など、15年の長きにわたる功労が称えられました。

### 子育て世帯への支援

松高校区「夏休み宿題応援隊」



▲宿題に取り組む子どもたち

現在、松高校区では共働きの子育て世帯も多く、夏休みの自由課題など親子で宿題に取り組む時間が取りにくい状況になっています。そこで、同校区民生委員児童委員協議会では、「夏休み宿題応援隊」を組織し、夏休みの期間中、松高小学校の生徒を対象に宿題を取り組む場の提供を昨年から始めました。

昨年のアンケート調査で、夏休みの後半にも実施を望む声が多数上がったことから、今年は日程を前半と後半に分けて実施する運びとなりました。

この日、60人程度が参加した子どもたちは、熱心に黙々と夏休みの宿題に取り組む姿が見られました。

同協議会では、「今後も意義ある取り組みを続けていく」と抱負を語りました。



### 100歳 おめでとうございます



森 ハツヨさん  
(郡築一番町)  
大正5年8月9日生

若いころは和裁士として働いていたハツヨさん。結婚を機に熊本市に移り住みましたが、20年ほど前から八代市で暮らしています。習字、カラオケ、肥後狂句と多趣味で、肥後狂句は新聞に何度か掲載されたこともあるそうです。  
現在、施設に入所中のハツヨさんは頓知が好きで、よく頓知の利いた話をしては、施設職員や友人を笑わせています。  
長寿の秘訣は「よく食べること」。

### オペーション・オブ・ザ・シーズ初寄港



▲2016年4月から就航しているオペーション・オブ・ザ・シーズ

7月20日、外国クルーズ客船「オペーション・オブ・ザ・シーズ」が八代港に初寄港し、船内で歓迎セレモニーが行われました。  
同客船は先日、地震後初めて八代港に寄港した同社の「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」と同じ大きさです。  
歓迎セレモニーでは、中村博生市長が「数多くの港の中から八代港を寄港先として選んでいただきありがとうございます」と歓迎。  
同日に行われた出港セレモニーでは、秀岳館高校雅太鼓部やクルーズサポーター、くまモンなどによる見送りが行われました。

### 夏季特別展覧会



▲学芸員の説明を聞きながら鑑賞する様子

夏季特別展覧会「行ってみよう！江戸時代、八代の町と村」が7月15日から市立博物館未来の森ミュージアムで始まりました。  
この展覧会は、知っているようで知らない八代の江戸時代の町と村の様子や人々の暮らしについて、古文書や絵画など約40点を展示して、わかりやすく紹介する内容となっています。  
初日の開会式では同博物館の松井葵之館長が「夏休み期間中でもあるので、昔の八代はどういう生活をしていたのか子どもたちが語り合う場となつてほしい」とあいさつ。  
この展覧会は9月4日まで行われています。

### 八代地域 食の安心安全フェスタ



▲食育ランチョンマットを作成している子どもたち

7月24日、イオン八代店において、八代地域食の安全安心実行委員会が主催となり、「八代地域 食の安全安心フェスタ」を開催しました。  
このイベントは、食品の安全性に関する情報提供を行い、自らの食について考える機会を提供しながら、食品衛生意識の普及啓発や食育の推進を図ることを目的としています。毎年行われており、今年で5回目。  
一日食品衛生監視員による店内監視のほか、手洗い体験や食育ランチョンマット作成、食品衛生パネルクイズなどのブースが設けられ、多くの親子連れや買い物客などで賑わいました。

### 昔ながらの漁法を体験



▲息を合わせてヨイシヨ、ヨイシヨ

7月24日、大島で漁業体験教室が行われ、子どもから大人まで約120人が昔ながらの漁法である「地曳き網」を体験し、漁を楽しみました。  
これは不知火地区漁業士会が海や漁業のことを知り、魚を好きになってたくさん食べてほしいとの願いで開催しており、今回で21回目。  
地曳き網を体験した子どもたちは最初、苦戦していましたが、息を合わせてリズム良く網を引き始めると、みるみるうちに網を引き上げることができました。  
また、海に関する学習や地魚バーベキューなど行われ、参加者からは笑顔が溢れていました。

### 八代市強化指定選手指定証交付式



▲八代市強化指定選手と関係者

7月22日に「トップアスリート育成事業」で強化指定選手に選ばれた10競技27人が八代ホワイトパレスで強化指定選手指定証を受けました。  
同事業はオリンピックなどの国際大会で活躍する競技者の輩出を目指し、競技者への支援活動を推進することを目的に、市が市体育協会と連携して実施している事業です。  
選手を代表して九州学院高等学校の齋藤勇真選手（陸上）が「大きな目標を持ち、技術や体力の向上とともに強い精神力を身につけ、他の選手の模範となるように努力していきます」と決意を述べました。





### 日奈久温泉 丑の湯祭り



▲神幸行列に向かう神輿

7月30日、日奈久温泉街で丑の湯祭りが行われました。

丑の湯祭りは約600年前に日奈久温泉が発見された日が丑の日だったことから始まったとされ、この日に入浴すると効き目が千日分に相当すると言われています。

温泉神社で神事を行った後、神幸行列が日奈久の温泉街を練り歩きました。また、同日は日奈久温泉の11施設で日帰り温泉入浴料を無料にするサービスもあり、観光客や市民で賑わいました。

### 八代地方新規就農者激励会



▲宮崎修太さんの取り組み事例発表を聞く新規就農者

7月26日、JAやつしろ北部総合営農センターで八代地方新規就農者激励会が開催され、25人の新規就農者に向けてエールを送りました。

これは新規就農者に対して、各種支援制度の説明、先輩農業者の取り組みなどを紹介し、意見交換することで新規就農者の就農定着に向けた一助とすることが目的です。

先輩農業者の取組事例発表では、宮崎修太さんが自身の体験を踏まえて発表し、新規就農者の人たちが熱心に耳を傾けていました。

### 八代市童話発表大会



▲発表者全員での記念撮影

7月26日、やつしろハーモニーホールで「第11回八代市童話発表大会」が開催されました。市内の小学校を代表して27人が、日頃の練習の成果を披露しました。児童の中には、声の強弱や緩急をつけたり、身振り手振りを交えて表現するなど、個性豊かな発表者もいました。

審査の結果、今回の最優秀賞に選ばれたのは、宮地小学校6年の坂田知弥さん。

坂田さんは「選ばれた時は、とても嬉しかったです。これからもたくさんの本を読んでいきたいです」と笑顔で話してくれました。

### 夏休み子ども陶芸教室



▲湯呑み作りの様子

8月4日・5日の両日に千丁公民館で「キッズチャレンジ2016 夏休み子ども陶芸教室」が開催され、2日間で約60人の小学生が参加しました。

これは、ものを作る喜び、学ぶことの楽しさを感じてもらおうことを目的とした教室で、今年で10回目。子どもたちは鏡陶芸クラブ会員の指導の下、うまく作れるコツを教えてもらい、熱心に湯呑みに取り組んでいました。

宮地小学校4年生の森山絢矢さんは「難しかったけど楽しかったです」と話し、出来上がった湯呑みを嬉しそうに眺めていました。

### 海事産業見学会



▲海洋環境整備船「海煌」の説明を受ける参加者

8月4日、国土交通省九州運輸局熊本運輸支局が八代港で八代教育研究会小学校社会科研究会の先生を対象に、海事産業への理解と関心を高めるための見学会が開催されました。

今回は海洋環境整備船「海煌」やパシフィックグリーンセンター、熊本ドックを見学。整備船「海煌」では、海洋汚染防除や船舶の安全などを目的とした日々の活動についてや、環境調査として水質や海底の調査を行っていることについて説明がありました。また、流木回収のデモンストラクションも行われました。

### 八代市有功者表彰式



▲有功者の皆さん

市政に功績のあった人を称える「八代市有功者表彰式」が、市制施行日である8月1日に千丁公民館で行われ、1社28人が表彰を受けました。

今回は市青少年指導員や消防団分団長、学校医など市の発展に貢献された有功者一人ひとりに対し、中村博生市長が賞状と記念品を授与しました。

表彰者を代表して、市青少年指導員の齋藤為男さんが「かけがえのない郷土八代において、それぞれの分野で微力を尽くしてきたことが認められ光栄です」と謝辞を述べました。